

交差点事故をなくそう 歩行者・自転車 再確認

《過労運転の防止》

- 「ぼ～っと」すると…目は開いていても…見えていません
- …「その運転、大変危険です」
- こまめに休憩をとりましょう (2時間走行15分休憩)
- 運転中は、常に、危険です 緊張感のゆるみに注意しましょう
- 視線を固定しない…ミラーを見る、歩道に目を向ける、情報表示板・標識を見る

バックする時 「たぶんいないだろう…」は、ダメ

信号待ち車への追突 漫然運転、わき見運転に注意しましょう

確認してからハンドル操作 すべての操作は必ず、確認してから行いましょう

運転中 子どもの動きに 注意しましょう

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

夜10時半 小樽 国道5号線
車道を歩いて渡っていた男性

タクシーにはねられ死亡

信号や横断歩道のない場所

- ◇『横断歩道のない場所』、渡ってくるかもしれない◇
- ◇夜間、早朝も道路を横断する歩行者がいます◇
- ◇夜間、早朝、「人はいないだろう」と…漫然と運転することは危険です◇
- ◇夜間は、歩行者が見えづらくなるので、「ハイビーム」を活用しましょう◇

2024/08/20 (火)

19日午後10時半前、小樽市花園3丁目の国道5号線で、車道を歩いて渡っていた60代くらいの男性がタクシーにはねられ、市内の病院に運ばれましたが、まもなく死亡が確認されたということです。警察は、タクシー運転手の男性(66)を過失運転致死の疑いでその場で逮捕しました。現場はJR小樽駅から南に1キロほどの歓楽街に近い、片側2車線の直線道路で、男性がはねられた場所には、信号機や横断歩道が設置されていなかったということです。事故当時、タクシーに客は乗っておらず、運転手は警察の調べに対して「不注意で事故を起こして申し訳なかった」と話して容疑を認めているという。

右折の軽乗用車にはねられ
横断歩道を渡っていた88歳女性が死亡

軽乗用車運転の会社員の男性を逮捕

- ◇ショートカット右折をしない (道路交通法にも禁止)◇
- ◇ショートカット右折は、ミラーとピラーの「死角」をつくる、歩行者を「見落とす」◇
- ◇右折時は、「大きく曲がって」、ミラーとピラーの「死角」をつくらない◇

2024/8/19(月)

19日午前11時頃、宮城県の市道の丁字路交差点で、横断歩道を渡っていた女性(88)が右折してきた軽乗用車にはねられ、頭を強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認されました。警察は軽乗用車を運転していた会社員の男性(69)を現行犯逮捕しました。警察は容疑を過失運転致死に切り替えて当時の状況を詳しく調べています。

「作業中に感電した」
造船所で配管工の男性重体
作業で電動工具使用

2024/8/20(火)

19日午後4時頃、愛媛県の造船所で配管工の男性(19)が電動工具を使ってパイプを研磨する作業中に倒れました。男性は病院に運ばれ意識不明の重体になっています。警察によりますと男性は造船所に関連する作業員として働いていて、消防には「造船所で作業中の男性が感電した」と通報があったということです。